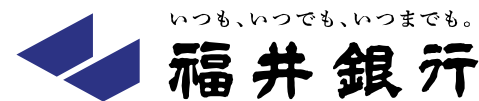


# 2022年度中間期 決算発表

---

2022年11月11日(金)



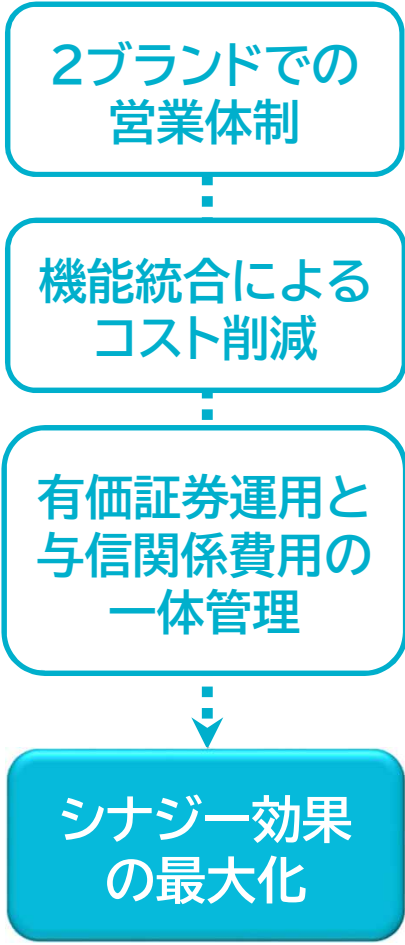
# 1. 2022年度中間期決算概要

## 2. Fプロジェクト Vision 2032 ～中期経営計画 I の進捗状況～

# 1. | 2022年度中間期 決算概要

# 2022年度中間期決算サマリー

	Fプロジェクト 【連結】	福井銀行 【単体】	福邦銀行 【単体】
連結粗利益・ 業務粗利益	連結粗利益 <b>169.5</b> 億円 前年同期比 <b>+32.7</b> 億円 ↑	業務粗利益 <b>131.1</b> 億円 前年同期比 <b>+7.9</b> 億円 ↑	業務粗利益 <b>26.6</b> 億円 前年同期比 <b>▲2.3</b> 億円 ↓
コア業務純益 (除く投信解約損益)		<b>29.8</b> 億円 前年同期比 <b>+10.8</b> 億円 ↑	<b>0.8</b> 億円 前年同期比 <b>+0.9</b> 億円 ↑
中間純利益	親会社株主に帰属する中間純利益 <b>19.7</b> 億円 前年同期比 <b>+13.1</b> 億円 ↑	中間純利益 <b>19.3</b> 億円 前年同期比 <b>+15.0</b> 億円 ↑	中間純利益 <b>▲0.1</b> 億円 前年同期比 <b>▲1.4</b> 億円 ↓
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 福井銀行単体の利益項目の上昇。</li> <li>✓ 連結の各利益項目において、前年同期比増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 資金利益および外国為替売買益の増加。</li> <li>✓ 経費の減少。</li> <li>✓ 上記を主因とし、各利益項目において、前年同期比増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 前年の有価証券(投信)売却益の反動により、中間純利益等の利益項目は前年同期比減少。</li> <li>✓ ただし、本業利益をあらゆるコア業務純益(除く投信解約損益)は、前年同期比増加。</li> </ul>



# コア業務純益(除く投信解約損益)

## 福井銀行【単体】

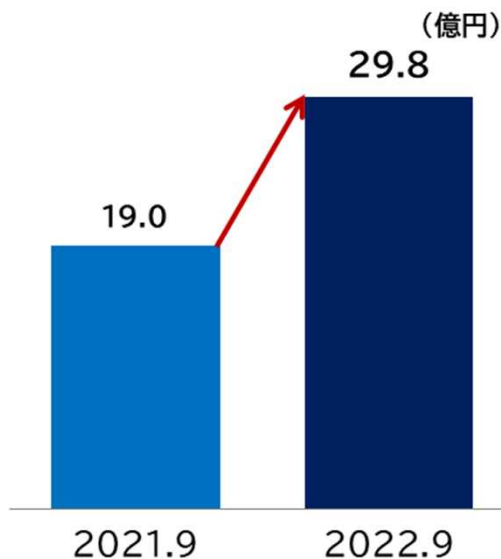
### コア業務純益

(除く投信解約損益)

29.8億円

前年同期比 **↑**

+10.8億円



### 貸出金利息

前年同期比 **+2.4**億円

- ✓ 地域のお客さまの課題を発見・解決(6・7頁)
- ✓ LBOや再エネ関連貸出の取組み

### 役務取引等利益

前年同期比 **▲0.6**億円

- ✓ 為替(銀行間)手数料減額の影響
- ✓ SDGs・脱炭素に対するお客さま支援(7頁)

### 経費

前年同期比 **▲5.7**億円

- ✓ 預金保険料の減額など個別要因の影響
- ✓ 店舗統廃合(BinB)等への取組み(17頁)

## 福邦銀行【単体】

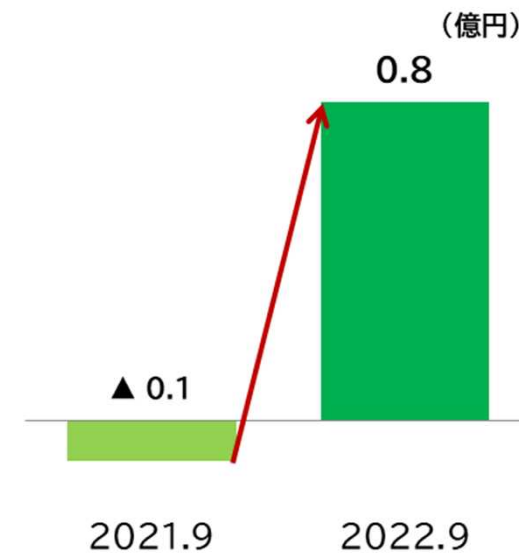
### コア業務純益

(除く投信解約損益)

0.8億円

前年同期比 **↑**

+0.9億円



### 貸出金利息

前年同期比 **+0.2**億円

- ✓ 福邦銀行の「強み」への経営資源の選択と集中(8・9頁)

### 役務取引等利益

前年同期比 **+0.4**億円

- ✓ 「本業支援の徹底」と「Fプロジェクト機能の活用」によるコンサル機能の深化・拡大(8・10頁)

### 経費

前年同期比 **▲0.5**億円

- ✓ 店舗統廃合(BinB)等への取組み(17頁)

福井銀行【単体】

## 貸出金残高(2022.9月末)

**18,385** 億円

前年同期比 **↑**

**+255** 億円

中小企業等貸出金 前年同期比 **+525** 億円

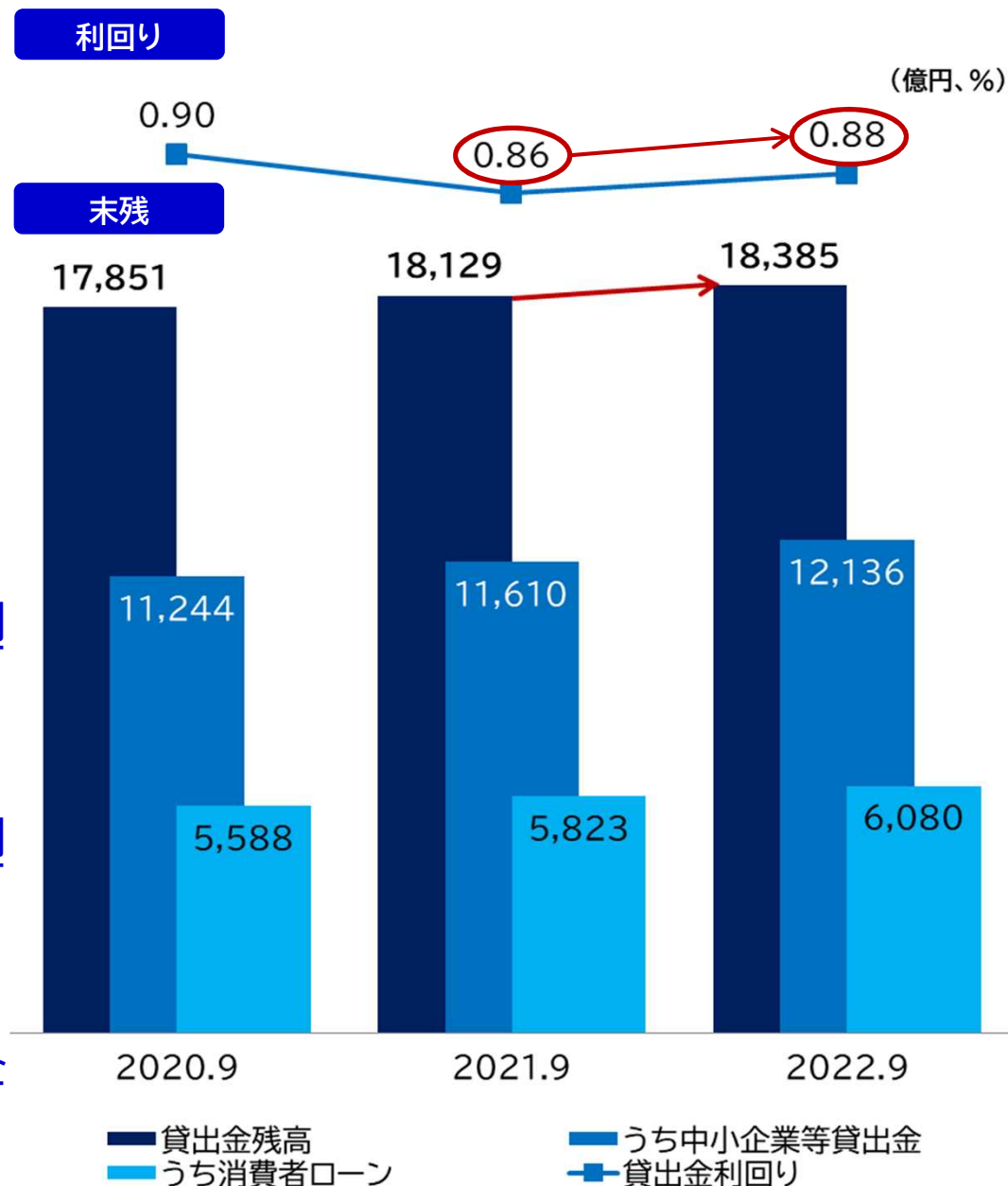
- ✓ コロナ禍にあるお客さまの資金繰り支援
- ✓ 事業性理解に基づくお客さまの課題解決支援

消費者ローン 前年同期比 **+256** 億円

- ✓ 住宅業者との密な連携により、スムーズな住宅ローン取上げを可能とする

貸出金利回 前年同期比 **+0.02** ポイント

- ✓ 課題発見・解決を適切・スピーディーに実施し、「付加価値」としての対価(=金利)をいただく

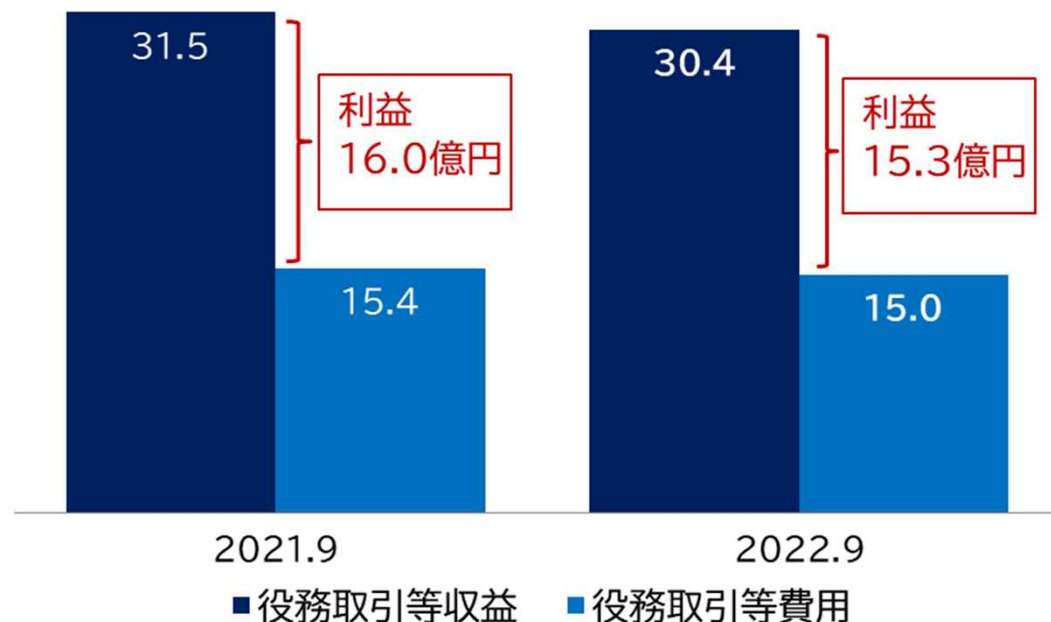


## 福井銀行【単体】

役務取引等収益 **30.4**億円

前年同期比 **▲1.0**億円

- ✓ 為替(銀行間)手数料減額の影響により、受入為替手数料が減少(前年同期比▲1.5億円)
- ✓ 法人コンサルティング手数料・個人コンサルティング手数料は前年同期実績並



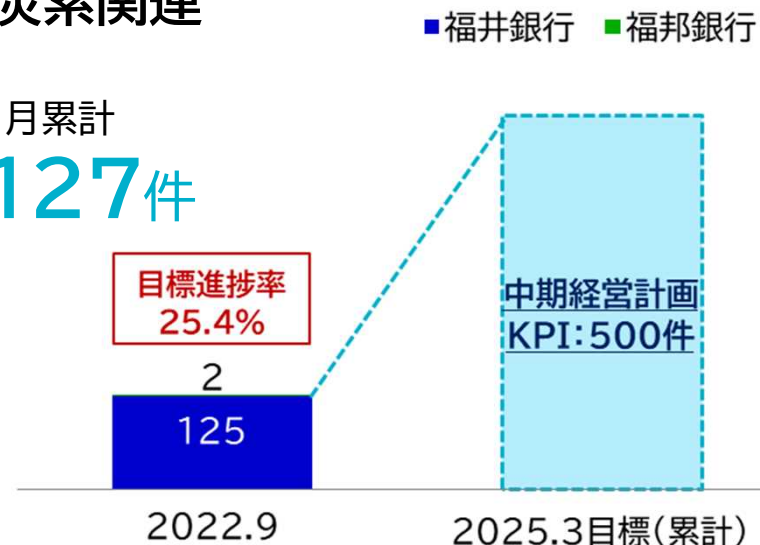
## お客様のSDGs・脱炭素への取組みに対する課題解決支援

- ✓ 「SDGs」「脱炭素」等の取組みにより、お客様の事業成長や企業価値向上へつなげるため、地元企業へのSDGs経営・脱炭素経営への取組みを支援。
- ✓ 特に「<ふくぎん>SDGs経営支援サービス」や「ふくぎんSDGs私募債」が好調となり、法人コンサルティング手数料の獲得に寄与。

## SDGs・脱炭素関連 支援件数

2022.4月～9月累計

2行合算 **127**件





## 「2ブランド営業」 ビジネスモデルの構築

～庶民銀行への原点回帰～

地元中小零細企業への融資と本業支援、個人の生活支援において、福邦銀行の強みを最大限発揮し、グループ機能も活用した営業を展開

### 経営資源の選択と集中

- ✓ 本部機能統合と組織再編 ⇒ 業務効率化と人的資源創出
- ✓ 予防的引当て（積増し）実施 ⇒ 地元中小零細企業への積極支援
- ✓ 有価証券運用に依存しない体質づくり ⇒ 持続可能な体質へ構造改革

**Fプロジェクトで福井の安定的・持続的發展に貢献！**



福邦銀行【単体】

## 貸出金残高(2022.9月末)

3,384億円

前年同期比 ↑

+133億円

中小企業等貸出金 前年同期比 **+64**億円

✓ 中小零細・個人事業主への取組みに注力

消費者ローン 前年同期比 **▲1**億円

✓ アウトバウンドの強化により、その他ローン残高が堅調に推移。

貸出金利回 前年同期比 **▲0.03**ポイント

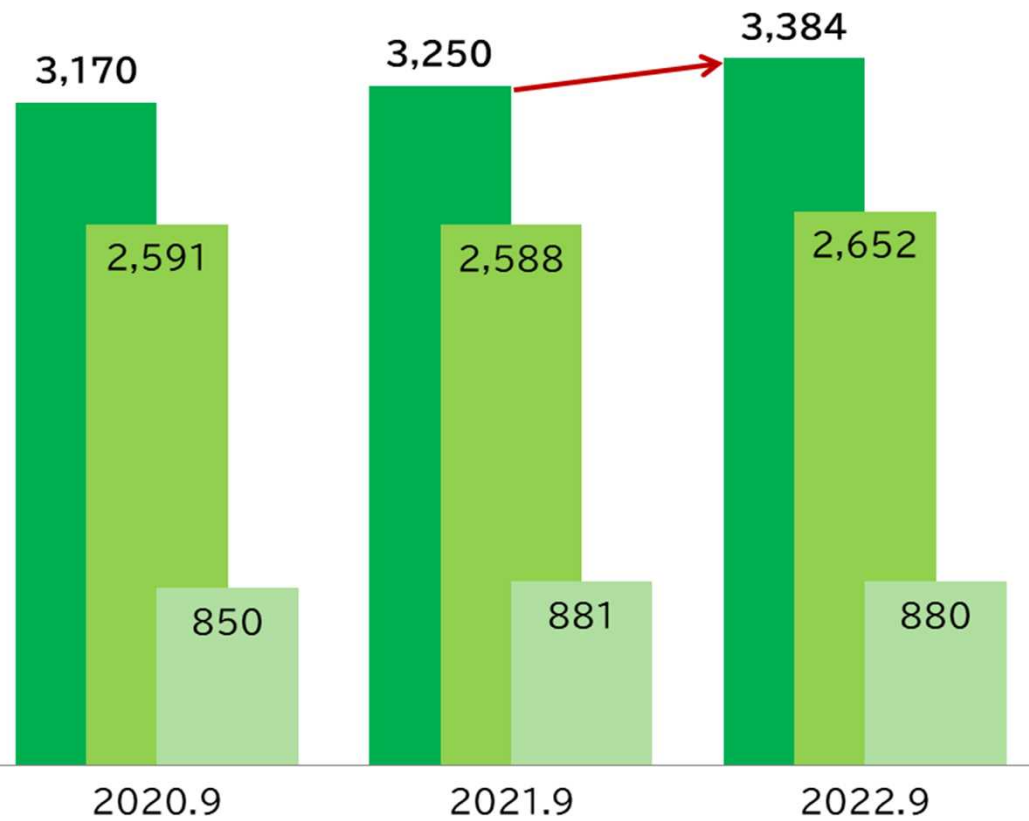
✓ 課題発見・解決を適切・スピーディーに実施し、「付加価値」としての対価(=金利)をいただく

利回り

(億円、%)



未残



■ 貸出金残高  
■ うち消費者ローン

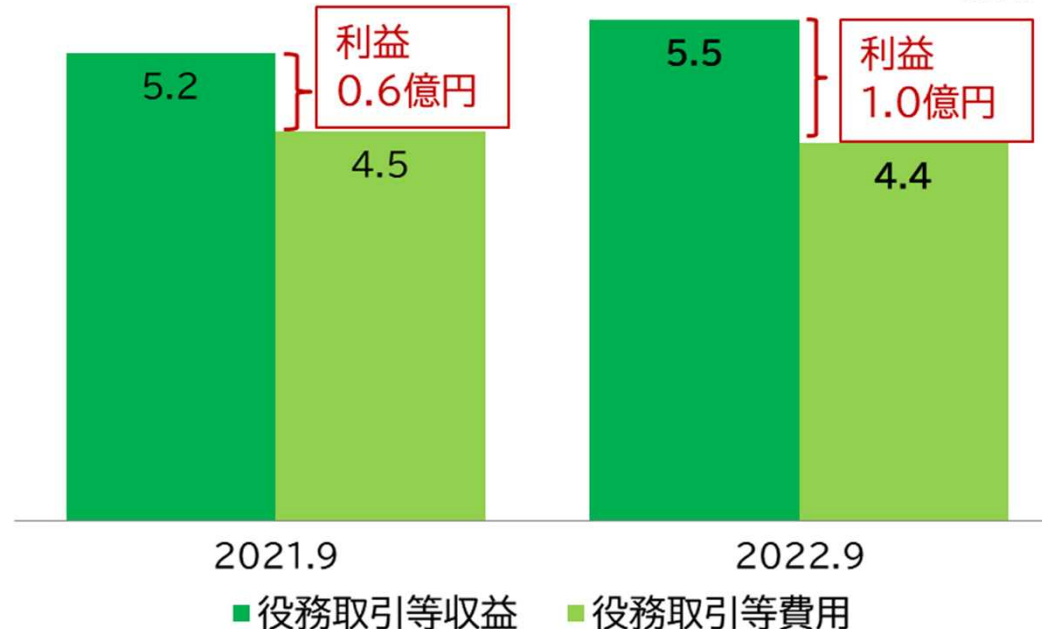
■ うち中小企業等貸出金  
■ 貸出金利回り

## 福邦銀行【単体】

役務取引等収益 **5.5** 億円

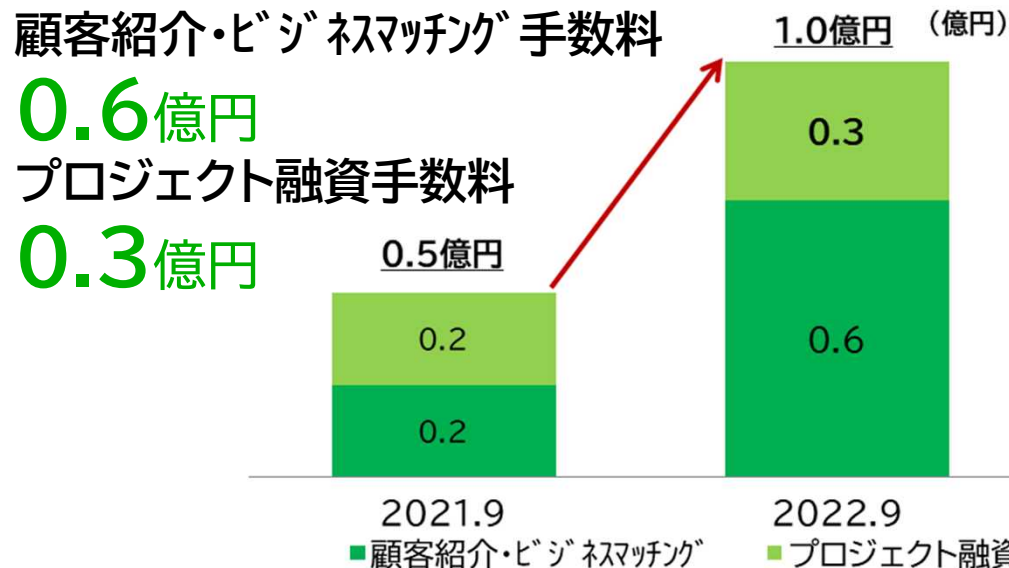
前年同期比 **↑** **+0.2** 億円

- ✓ 為替(銀行間)手数料減額の影響により、受入為替手数料が減少。(前年同期比▲0.2億円)
- ✓ 法人コンサルティング手数料や不動産紹介手数料・プロジェクト融資手数料が増加。

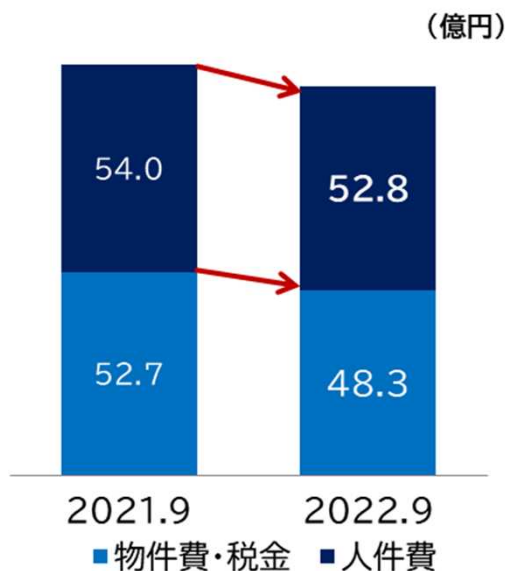


## 福邦銀行の「強み」を活かしたコンサルティング活動の深化・拡大

- ✓ 2022年度の重点施策、「本業支援の徹底」「Fプロジェクト機能の活用」によるコンサル機能の深化・拡大への取組みの結果、顧客紹介やビジネスマッチング手数料を中心に増加
- ✓ 北陸新幹線延伸を控え、高まりつつある不動産購入や賃貸物件建設の需要に対する各種情報提供や資金ニーズ掘り起こし活動などの継続的な取組みが奏功し、不動産紹介手数料、プロジェクト融資手数料(※)が増加  
※アパート等の収益物件や分譲案件にかかる融資取扱手数料



福井銀行【単体】



## 人件費

52.8億円

前年同期比 ↓

▲1.2億円

## 物件費・税金

48.3億円

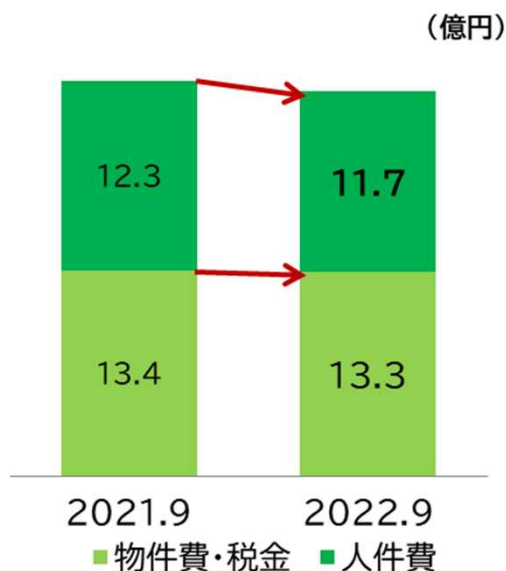
前年同期比 ↓

▲4.4億円

✓ グループ会社への  
人員シフトによる減  
少(17頁)

✓ 預金保険料引下げ  
(▲1.8億)の他、  
個別案件の要因に  
よる減少

福邦銀行【単体】



## 人件費

11.7億円

前年同期比 ↓

▲0.5億円

## 物件費・税金

13.3億円

前年同期比 →

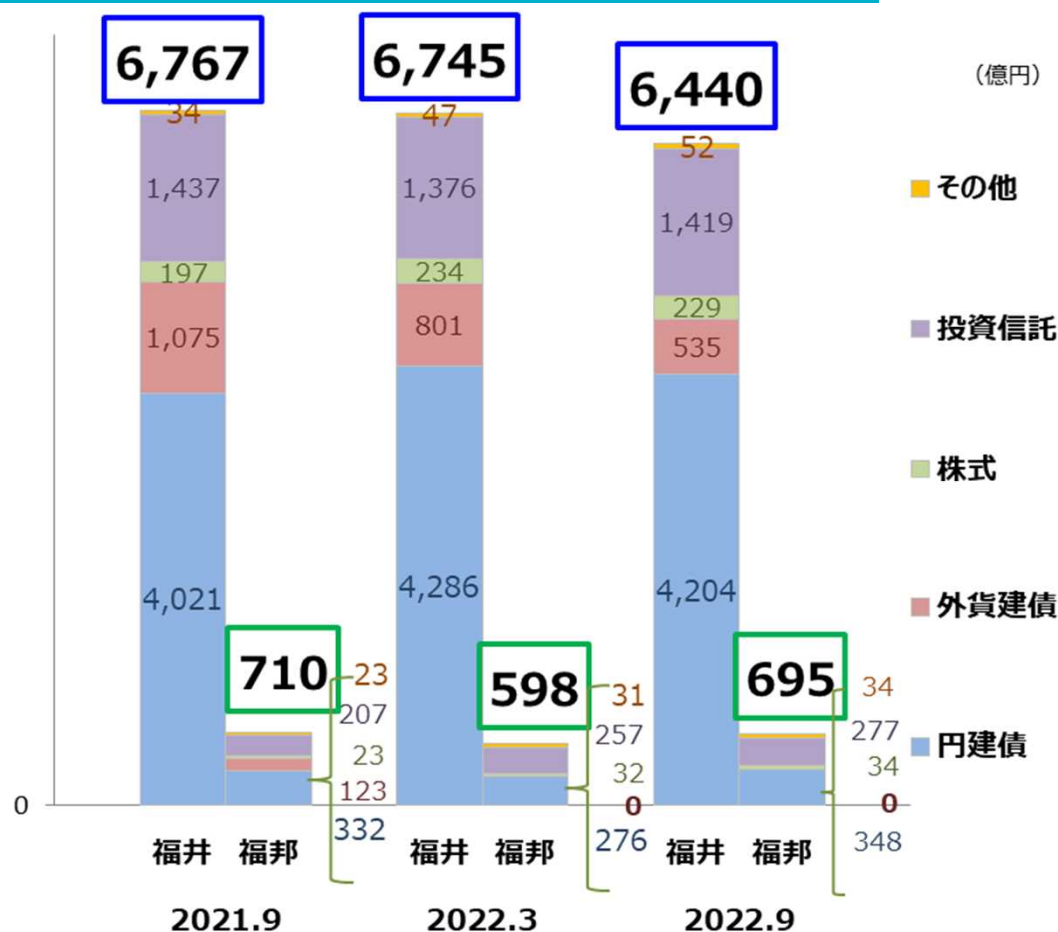
±0億円

✓ 人員数減少による  
人件費減少

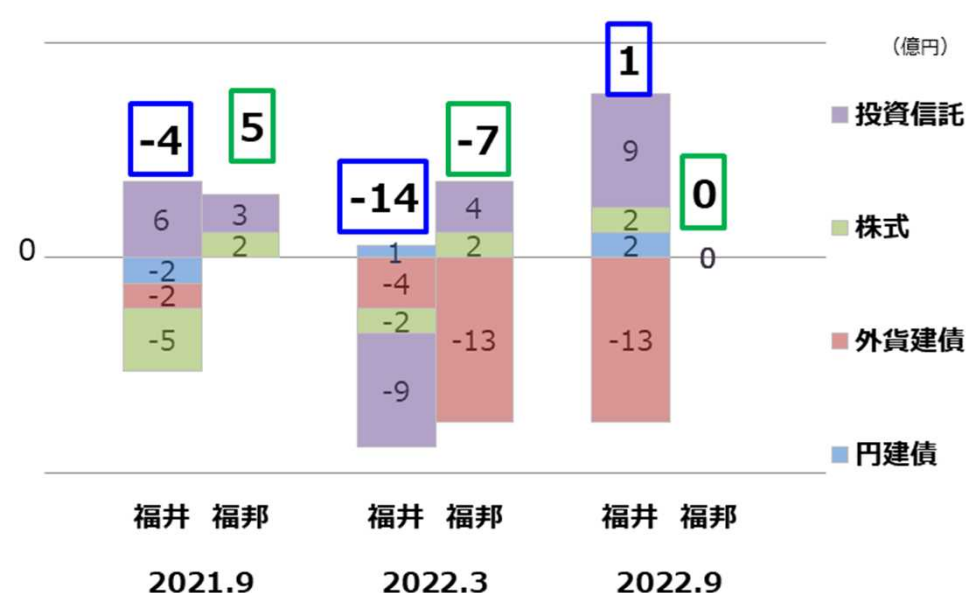
↓  
本部機能統合により  
人員減少をカバー

## 有価証券残高

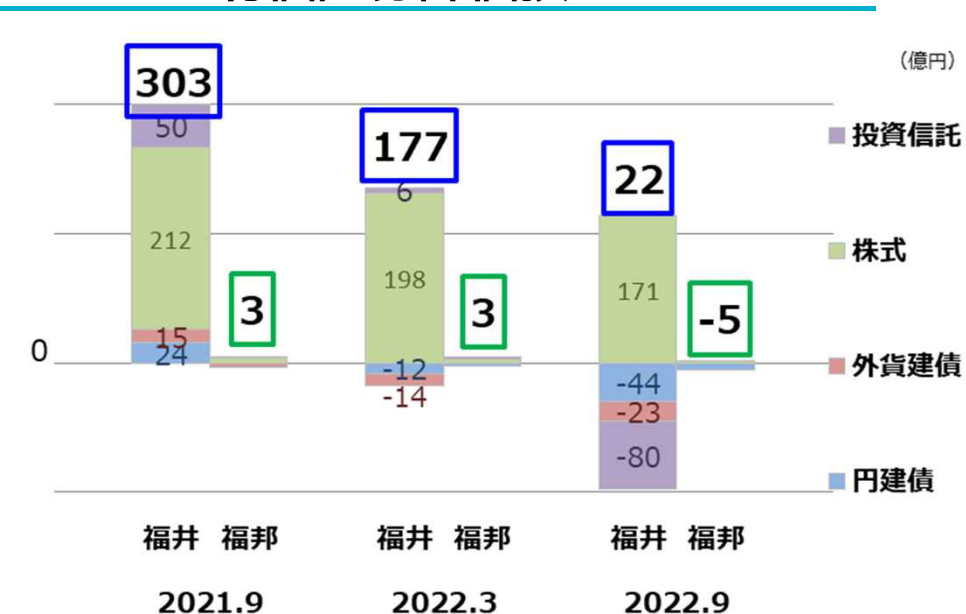
※簿価基準



## 有価証券売買・償還等損益 (投信解約損益含む)

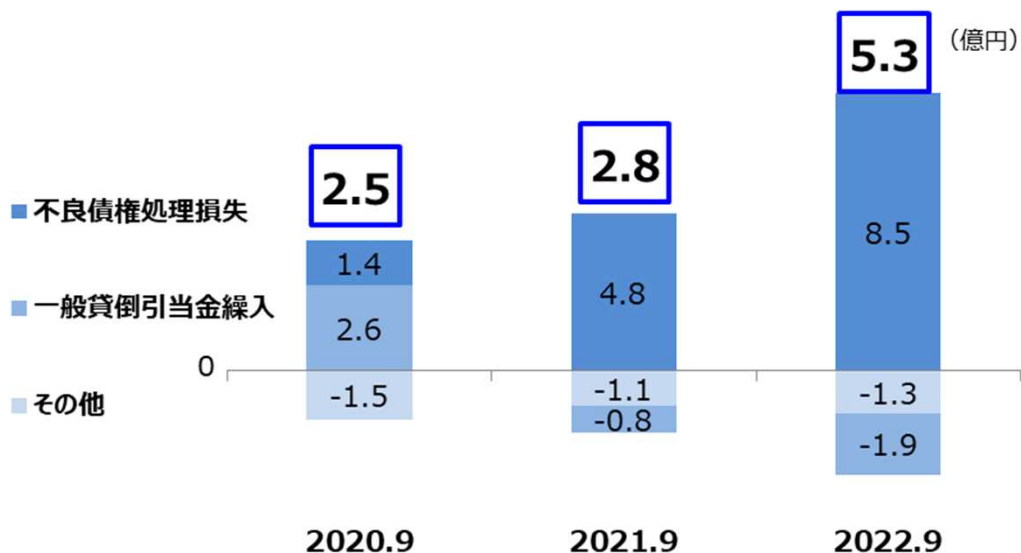


## 有価証券評価損益

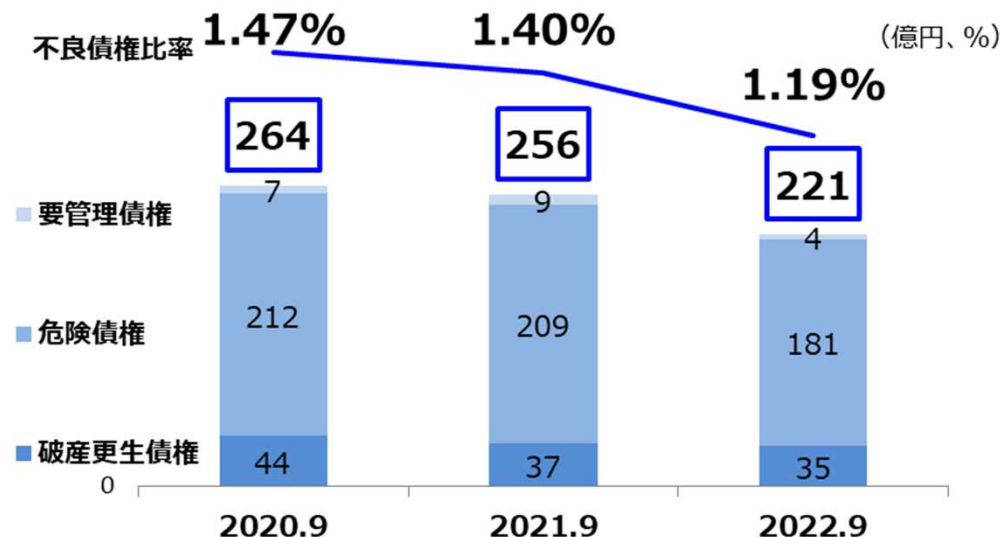


- ✓ 2022年初めからの外国金利上昇を受け、外貨建て債券のポジションを圧縮。
- ✓ 安定的な資金利益の獲得、及び今後の円金利を含めた市場変動を考慮した慎重なポートフォリオ運営を行う方針。

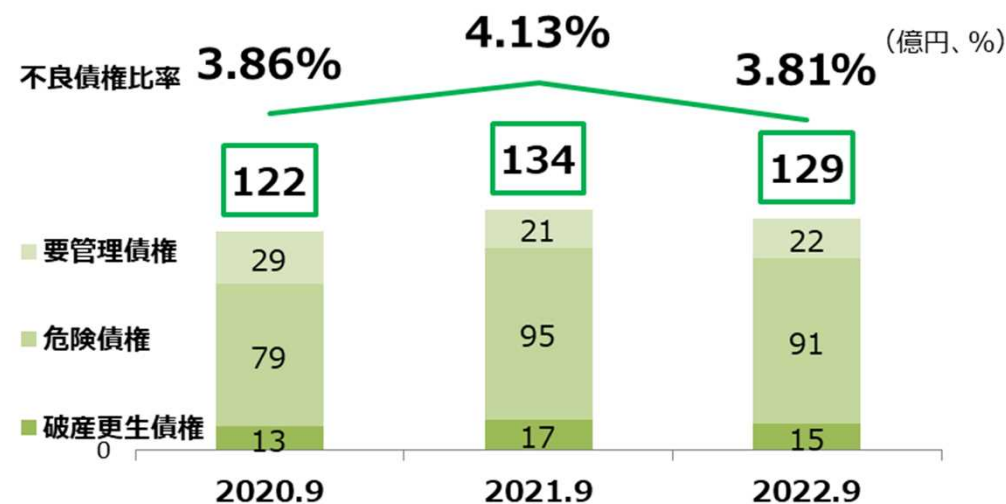
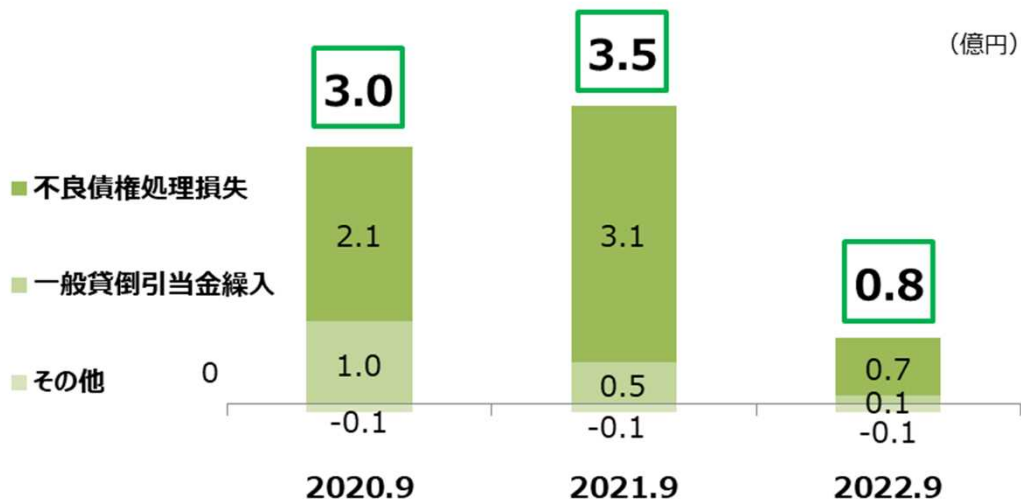
## 与信コストの推移



## 不良債権の状況



福邦銀行【単体】



✓ 与信コストの発生は当初計画の範囲内

## 2. | Fプロジェクト Vision 2032 ～中期経営計画 I の進捗状況～



# 中期経営計画 I の位置づけ

Fプロジェクト  
Vision 2032

私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し  
「地域価値循環モデル」を実現します

「Fプロジェクト Vision 2032」の第 I フェーズとして、  
**スタートダッシュを切る3年間**と位置付けます。

**ウェルビーイング戦術**

役職員にウェルビーイングの考え方や取組みを浸透させる3年間とします。

**コンサルティング戦術**

地域・法人・個人のお客さまに、伴走型のコンサルティングを浸透させる3年間とします。

**ユーザビリティ戦術**

デジタル投資の加速と店舗・ATMの縮小により、ヒト×デジタルのハイブリッド体制をつくる3年間とします。

**ファンダメンタル戦術**

資金運用の多様化を進め、事業活動の原資となる資金運用収益の基盤を確立する3年間とします。

**機能別戦術**

経営資源のメリハリある配賦を実行し、上記3戦術が確実に実行される体制を構築します。



Fプロジェクト Vision 2032

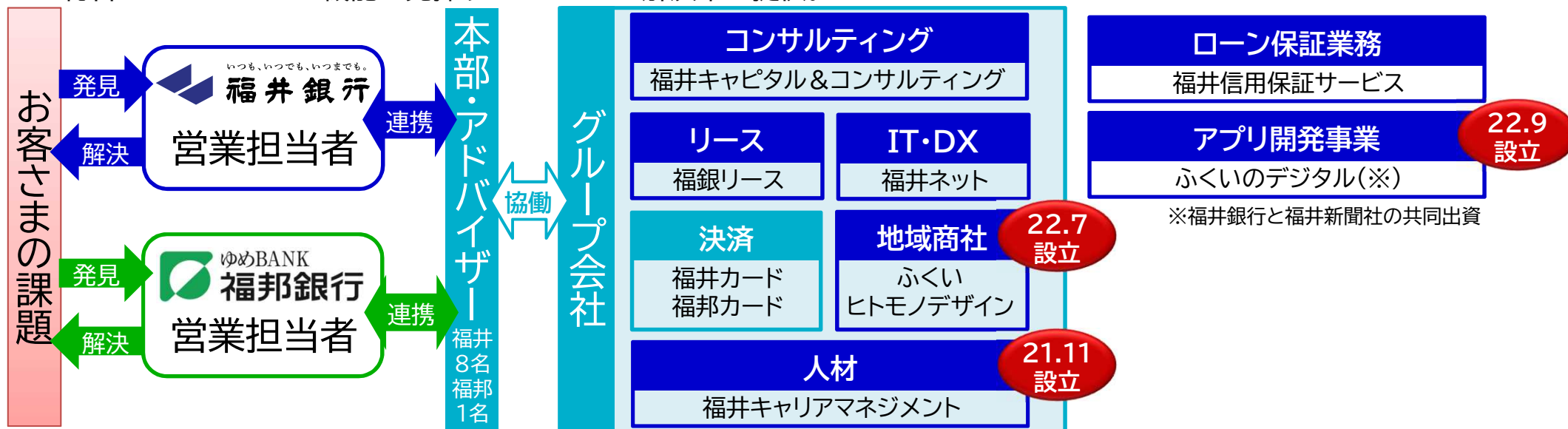
2028.4 - 2032.3  
中期経営計画Ⅲ

2025.4 - 2028.3  
中期経営計画Ⅱ

2022.4 - 2025.3  
中期経営計画Ⅰ

## グループ機能を活かした総合コンサルティングサービスの提供

- 本部に営業店をサポートする役割に特化したアドバイザーを配置。営業店担当者と連携してお客さまの課題を整理し、グループ全体で総合コンサルティング機能を発揮することにより解決策を提供。

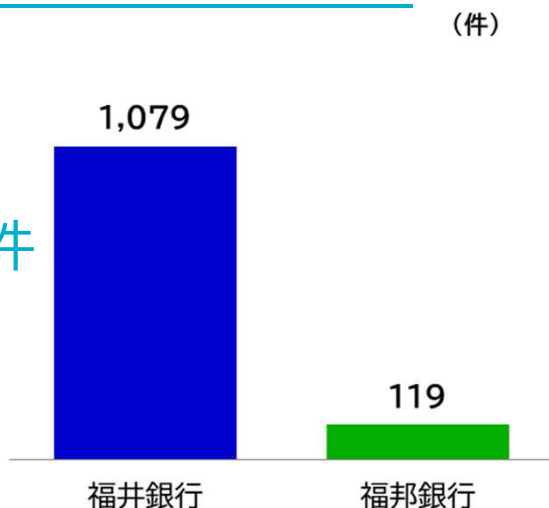


### グループ会社へのトスアップ件数

グループ会社への  
トスアップ件数  
2022.4月～9月累計

2行合算 **1,198件**

- 福邦銀行では、6月よりグループ会社を活用した課題解決コンサルティングを本格化。

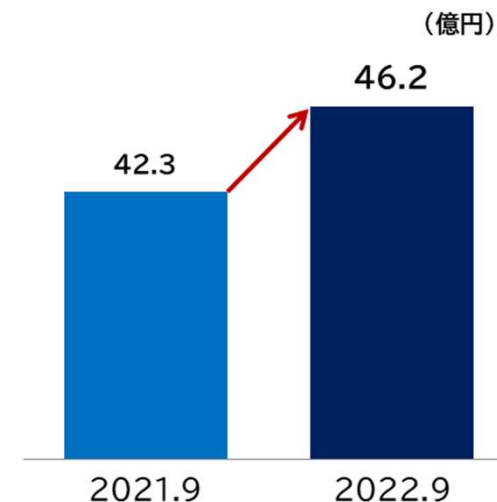


### グループ会社売上高

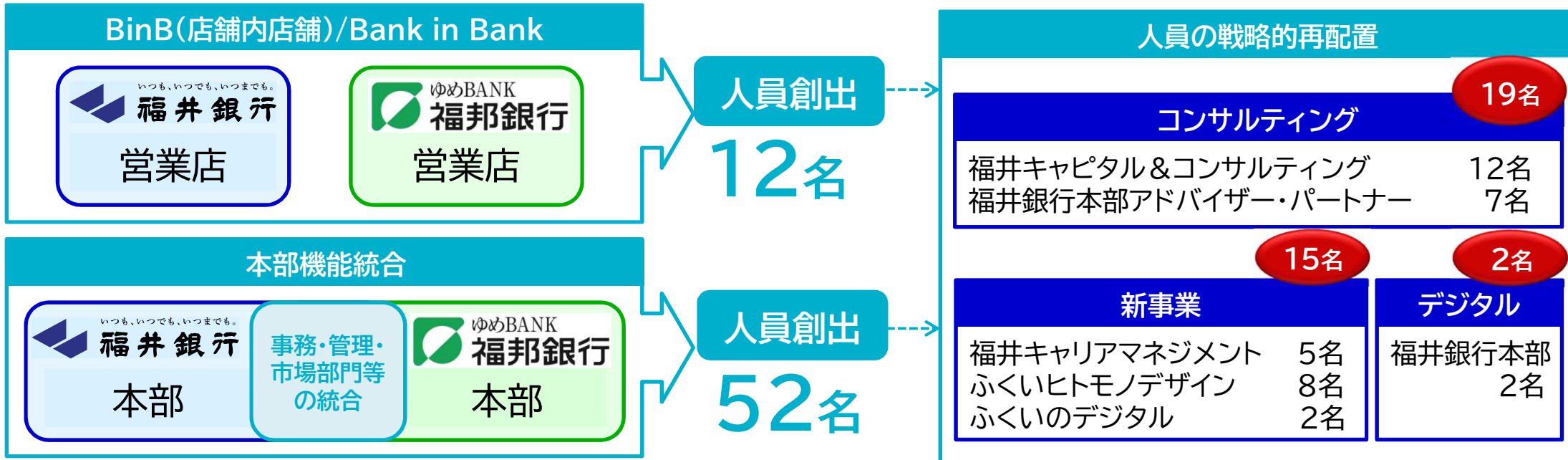
グループ会社売上高  
**46.2億円**  
前年同期比 **↑**  
**+3.9億円**

- 福銀リース、福井カード、福井キャピタル&コンサルティングにて前年同期比増加。

※グループ間の業務委託料等を除く売上高  
※福井信用保証サービスを除く



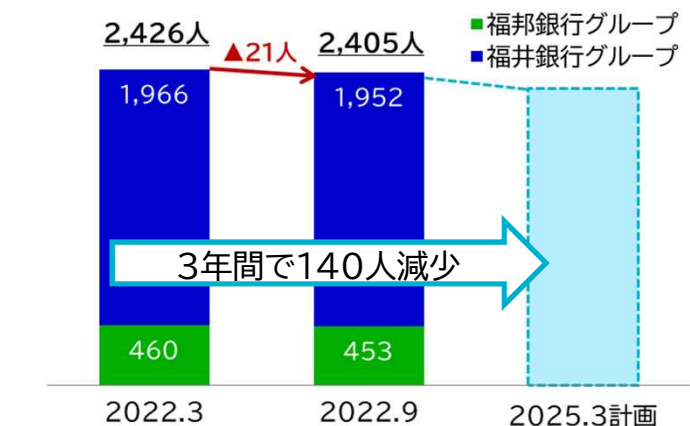
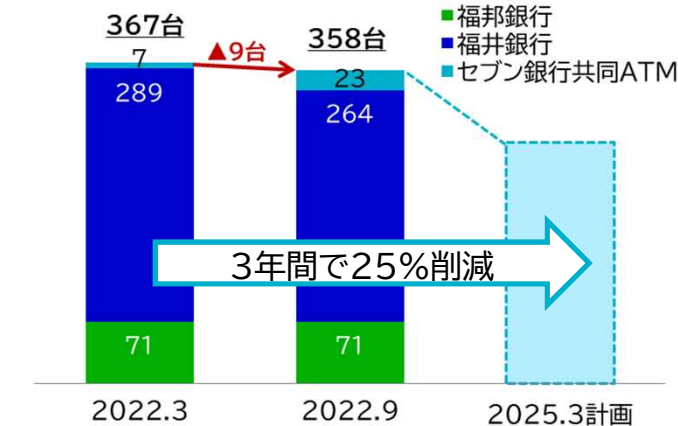
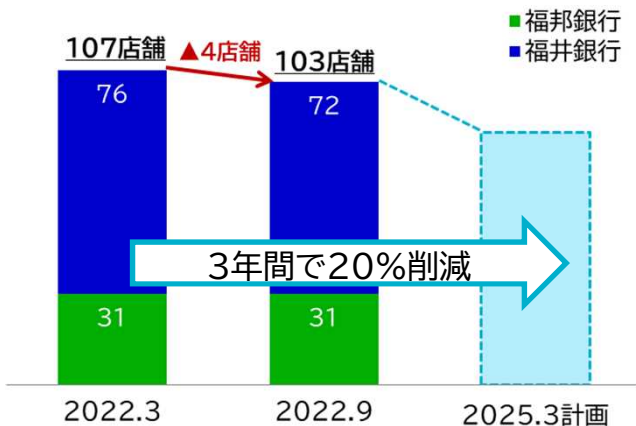
## BinB(店舗内店舗)および本部機能統合を通じたコスト削減と人員の再配置



**店舗数**  
※実店舗数  
※BankinBank(小松支店)は福邦銀行より店舗数控除

**ATM台数**

**人員数**



- 【2022年度上期中のBinB実績】
- ✓ 7月:(福井)東郷支店・東小浜支店
  - ✓ 9月:(福井)三番通出張所・春江西出張所

- ✓ 店舗外ATMをセブン銀行共同ATMへ順次移行
- ✓ 福井銀行・福邦銀行共同ATMを開発中

- ✓ 自然減(定年退職等)により、3年間で140人減少を計画

# 目標経営指標の進捗

連結当期純利益(※)

2024年度目標 **40億円** 以上

2022年度中間期実績

**19.7** 億円

(目標進捗率: 49.2%)

※親会社株主に帰属する中間純利益

連結自己資本比率

2025年3月末目標 **7.0%** 以上

2022年度中間期実績

**7.83%**

(目標比: +0.83ポイント)

連結コアOHR

2024年度目標 **77.0%** 以下

2022年度中間期実績

**77.28%**

(目標比: +0.28ポイント)

連結ROE

2025年3月末目標 **3.0%** 以上

2022年度中間期実績

**3.06%**

(目標比: +0.06ポイント)

- 事前に株式会社福井銀行の許可を得ることなく本資料を転写・複製し、または第三者に配布することを禁止します。
- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。また、本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。
- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があることにご留意ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

**株式会社福井銀行**  
**経営管理グループ(担当:北出)**  
**TEL:0776-25-8012**